字部のCPー字科のCPU						
学部 CP	学科 CP①					
理工学部では、幅広い教養や理工学全般の知識に加え、専門性の高い知識及び情報の収集・発信に関する知識を主体的に修得すること、また、それらを科学技術業界や地域社会へ活用し、貢献できる人材の育成を目的とし、教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。	食環境学科	食環境学科では、食と環境に関する幅広い知識を主体的に修得し、科学の基礎知識に根ざした情報収集力・情報分析力・論理的思考力を確実に身につけ、食環境の諸問題への取り組みを通じて社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、食環境分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技能、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。				
	生物科学科	生物科学科では、生物科学全般に関する幅広い知識を主体的に修得し、データに基づいて分析する力及び論理的に思考する力を確実に身につけ、それらを社会へ発信して活用、貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、生物科学分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。				
	機械工学科	機械工学科では、機械工学分野に関する幅広い知識と技能を主体的に修得し、ものづくりを中心とした機械産業の諸課題を探求できる論理的かつ創造的な能力を実践的に身につけ、それらを活用して社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、機械工学分野の基本的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技能、論理的な思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。				
	情報電子工学科	情報電子工学科では、情報・電子技術を駆使して、高度情報通信社会の諸問題に柔軟に対応し、新しい社会の構築に貢献する技術者の育成を目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目に加えて、情報・電子分野の技術を駆使するために必要な専門基礎科目および専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。				
経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。	経営学科	経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や地域社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。				
人間学部では、人間が創り出した文化と人間の原点である教育を柱とする人間の理解に関する知識を主体的に修得し、それらを活用して地域社会の発展と向上に貢献できる人材の育成を目的とし、文化、教育に関する基礎的な知識を養成する専門基礎科目、より専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。	人間文化学科	人間文化学科では、人間が創り出した文化を言語、芸術、生活、社会の4側面からとらえ、今日的文化状況や文化構造に関する知識および関連する技能を修得することにより、地域社会の創成や文化振興に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を達成するために、幅広い教養と文化学に関連する専門的知識を修得する科目、文化に関する各種情報を収集・分析し、その成果を的確に情報発信する能力を身に付ける科目、地域の文化振興に主体的に取り組む態度や志向性を涵養する科目、文化に関わる研究テーマについて調査・分析・考察を行い、それを一定の成果としてまとめ上げる能力を育成する科目により、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。				
	人間教育学科	人間教育学科では、保育・教育に関する幅広い知識と基本的技能を主体的に習得し、現代社会における保育・教育の諸課題の解決に創造的、実践的に取り組む能力を身につけ、保育・教育の発展に寄与できる人材を養成することを目的とする。この目的を果たすために、保育・教育学の知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識や技能、また論理的、創造的に思考する能力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開し、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。				

経営学科のCP②

教育上の目的	養成する人材		DP	CP2	授業科目
経営学科では、	経営学科では、経営学分	経営学科では、次の掲げ	【幅広い教養と専門的知識】	①-1 幅広い教養および豊かな人間性を涵養する	いしのまき学② 英語A② 英語B② 英語C② 英語D
組織として教育	野に関する教育研究を	る四つの能力、すなわち、	①人文・社会・自然科学全般についての幅広い	ことを目的として、人文・社会・自然科学全般の	② 中国語A I ② 中国語A II ② 中国語B I ② 中国語
研究対象とする	通して、「経済社会の一	幅広い教養と専門的知	教養を有し、さらに経営学分野における基礎的	基本的な科目を配置する。	B II ② フランス語A I ② フランス語A II ② フランス
中心的な学問分	員として求められる汎	識、情報収集力と情報発	な知識を習得している。		語BI② フランス語BⅡ② ドイツ語AI② ドイツ語
野を「経営学分	用的技能と態度や志向	信力および専門的能力、			A II ② ドイツ語B I ② ドイツ語B II ② ハングルA I
野」とし、「幅広	性及び人間の文化や社	主体的な行動力と社会諸			② ハングルAⅡ② ハングルBⅠ② ハングルBⅡ②
い教養基盤に支	会と自然に関する知識	課題解決への姿勢、創造			総合科目② 日本の歴史② 世界の歴史② 異文化理解の
えられた豊かな	の習得とともに、事業体	的思考力と研究遂行能			人類学② 哲学-知の起源-② 芸術と文化② 心理学-心
人間性や社会性	の運営や管理に関する	力、を身につけた者に学			の科学-② 日本文学へのいざない② 社会学の世界②
		士(経営学)の学位を授与			法と社会② 法と人権② 経済と社会② 地理学 - 身近な
	れぞれの経営資源を有	する。			地域から世界まで・② 地域と政策② 生命と地球② 物
	効に活用する方法を高				質とエネルギー② 環境と科学② 健康科学と身体運動②
	度に理解し、複眼的視点				生活習慣と健康管理②
1 1 1	からビジネスマネジメ			①-2 経営活動に必要な知識の習得を目的とし	企業組織とマネジメント② マーケティング基礎② ビジ
	ントの専門的知識を経			て、経営学全般に関わる基礎的かつ基幹的な科	ネスと会計② 簿記基礎④ 経済学 I ② 基礎数学②
	営戦略の策定や実現の			目を配置する。	
	ために活用することが		【情報収集力と情報発信力および専門的能力】	②-1 経営活動に必要な専門的知識を習得し、そ	企業論② 経営管理論② 経営戦略論② 経営組織論②
	できる能力を有した人			れらを経営実践の場面で適切かつ効果的に利活	
	材」を養成する。		と、必要となる情報を収集・分析し、それらを	用できる能力を身に付ける科目を配置する。	ーシップ② 人的資源管理論② 財務管理論② 地域産業
なマネジメン			的確に発信できる能力を習得している。		論② 金融論② 国際金融論② 非営利組織経営論②
ト、マーケティ					経済学Ⅱ② 国際経済論② 流通論② 企業組織と法②
ング、会計、情					財産と法② 株式と法② 会計学② 原価計算論② 管理
報、経済などの					会計論② 税務会計論② コンピュータ会計② 税法②
知識や技能を経					財務諸表論② コンピュータ会計②観光学② 地域社会論
営実践の場面に					② ホスピタリティ論② 観光実務Ⅰ② 観光実務Ⅱ②
活用できる創造					観光実務Ⅲ② 観光実務Ⅳ② 地域観光論② 産業観光論
的な能力を育て					② ビジネスと情報② 経営情報論② 情報社会論②
る」ことを教育 上の目的とす					
上の日的と 9 る。				②-2 経営活動に必要な情報を収集・分析し、そ	 情報活用法 I ② 情報活用法 II ② 基礎統計学② 情
, o					開報估用伝1 ② 開報估用伝1 ② 基礎机計子② 開 報システム演習② データ分析基礎② オペレーティング
					システム論② プログラミング基礎② アルゴリズム論②
				を身につける科目を配置する。	データベース論② マルチメディア通信論② 通信ネッ
				を対につける科目を配直する。	トワーク論② 情報システム設計論② 情報システム管理
					論② プログラミング応用② 日本語技法A② 日本語技
					法B②英語コミュニケーションA② 英語コミュニケーシ
					ョンB② 英語コミュニケーションC② 英語コミュニケ
					ーションD②
			【主体的か行動力と社会諸課題解決への次熱】	③職業人に必要な職業意識や生涯学習、社会貢	
					体験研修② フレッシュマンセミナー④ 復興ボランティ
			発展に資する主体的な行動力と社会諸課題解		ア学② ボランティア論② ボランティア演習②
			決への姿勢を身につけている。		
			【創造的思考力と研究遂行能力】	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	ビジネス演習入門② チャレンジゼミ② ゼミナール I ④
			④経営の諸活動に関する課題を探求するため		ゼミナールII ④ ゼミナールIII ④ フィールドワーク I ②
			の研究意識と経営活動の向上に資するための	LATE SWIENDEN MEDICAL TO THE CONTROL OF THE CONTROL	
			基礎的な調査方法や分析手法などの研究能力		プ実践② テーマ演習 I ② テーマ演習 II ②
			を習得している。		NH 20 / NH 20